



BLF プレゼンス

- [BLF プレゼンスの概要](#) (1 ページ)
- [BLF プレゼンスの前提条件](#) (2 ページ)
- [BLF プレゼンスの設定タスク フロー](#) (2 ページ)
- [BLF プレゼンスの連携動作](#) (16 ページ)
- [BLF プレゼンスの制約事項](#) (17 ページ)

BLF プレゼンスの概要

他のユーザの電話番号上でのリアルタイムステータスまたは Uniform Resource Identifier (URI) の Session Initiation Protocol (SIP) を、ウォッチャであるユーザがウォッチャのデバイスからモニタするには、話中ランプフィールド (BLF) 機能を使用します。

ユーザのステータスまたは BLF プレゼンスエンティティ (プレゼンティティとも呼ばれます) をウォッチャがモニタできるようにするには、次のオプションを使用します。

- BLF と短縮ダイヤル ボタン
- ディレクトリ ウィンドウの不在着信、発信履歴、または着信履歴のリスト
- 共有ディレクトリ (社内ディレクトリなど)

既存エントリの BLF ステータスがコールリストとディレクトリに表示されます。BLF と短縮ダイヤル ボタンを設定すると、BLF プレゼンス エンティティがウォッチャのデバイス上に短縮ダイヤルとして表示されます。

ウォッチャが Cisco Unified Communications Manager に BLF プレゼンス リクエストを送信すると、BLF プレゼンス エンティティのステータスを表示できます。管理者が BLF プレゼンス機能を設定すると、ウォッチャのデバイスにリアルタイムステータス アイコンが現れ、BLF プレゼンスエンティティが電話上にあるか、電話上にないか、ステータス不明か、などが表示されます。

エクステンションモビリティ ユーザは、エクステンションモビリティ サポートを使用すると電話の BLF プレゼンス機能を利用できます。

BLF プレゼンス グループの認証により、認証されたウォッチャのみが接続先の BLF プレゼンスステータスにアクセスできるようになります。BLF または短縮ダイヤルの設定がある場合

にウォッチャが接続先をモニタできるように管理者が認証するため、BLF プレゼンス グループの認証は BLF または短縮ダイヤルには適用されません。

BLF プレゼンスの前提条件

- BLF プレゼンス機能で使用する電話を設定します。
- BLF プレゼンス機能で使用する SIP トランクを設定します。

BLF プレゼンスの設定タスク フロー

始める前に

- [BLF プレゼンスの前提条件 \(2 ページ\)](#) を確認してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	話中ランプ フィールド (BLF) のクラスタ全体のエンタープライズ パラメータを設定し、同期します。 BLF のクラスタ全体のエンタープライズ パラメータの設定および同期 (4 ページ) を参照してください。	同一クラスタに存在するすべてのデバイスとサービスに適用される BLF オプションを設定します。 エンタープライズ パラメータの設定変更は、最も干渉の少ない方法で、設定されたデバイスと同期できます。たとえば、影響を受けるデバイスでのリセットや再起動が不要です。
ステップ 2	BLF のクラスタ全体のサービスパラメータを設定します。 BLF のクラスタ全体のサービス パラメータの設定 (5 ページ) を参照してください。	Cisco Unified Communications Manager の管理で選択されたサーバ上でさまざまなサービスを設定するためにプレゼンス サービス パラメータを設定します。
ステップ 3	BLF プレゼンスグループを設定します。 BLF プレゼンスグループの設定 (5 ページ) を参照してください。	BLF プレゼンスグループを、監視者がモニタする接続先を制御できるように設定します。
ステップ 4	BLF プレゼンスグループをデバイスおよびユーザと関連付けるには、次のサブタスクを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • BLF プレゼンスグループと電話を関連付けます。 BLF プレゼンスグループと電話の関連付け (8 ページ) を参照してください。 • SIP トランクと BLF プレゼンスグループを関連付けます。 SIP トラン 	電話番号、SIP トランク、SIP を実行する電話、SCCP を実行する電話、アプリケーションユーザ (プレゼンス要求を SIP トランク経由で送信するアプリケーションユーザの場合)、またはエンドユーザに BLF プレゼンスグループを適用します。

	コマンドまたはアクション	目的
	<p>クと BLF プレゼンス グループの関連付け (9 ページ) を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • BLF プレゼンス グループとエンドユーザを関連付けます。BLF プレゼンス グループとエンドユーザの関連付け (10 ページ) を参照してください。 • BLF プレゼンス グループとアプリケーションユーザを関連付けます。BLF プレゼンス グループとアプリケーションユーザの関連付け (11 ページ) を参照してください。 	
ステップ 5	<p>外部トランクとアプリケーションからの BLF プレゼンス要求を承認します。外部トランクとアプリケーションからの BLF プレゼンス要求の承認 (12 ページ) を参照してください。</p>	<p>トランクレベルの認証に加えて、SIP トランクのアプリケーションにアプリケーションレベルの認証を有効にします。</p>
ステップ 6	<p>コーリング検索スペースを設定します。プレゼンス要求のコーリング検索スペースの設定 (13 ページ) を参照してください。</p>	<p>SUBSCRIBE コーリング検索スペースを SIP トランク、電話、またはエンドユーザに適用します。SUBSCRIBE コーリング検索スペースは、Cisco Unified Communications Manager がトランクまたは電話から来るプレゼンス要求をどのようにルーティングするかを決定します。コーリング検索スペースでは、発信側デバイスが電話を終了しようとする際に検索するパーティションが決定されます。プレゼンス要求に異なるコーリング検索スペースを選択しない場合、SUBSCRIBE コーリング検索スペースは、デフォルトオプションである [なし (None)] を選択します。</p>
ステップ 7	<p>BLF/短縮ダイヤル ボタンの電話ボタンテンプレートを設定します。BLF/短縮</p>	<p>電話機またはユーザデバイスプロファイル向けに BLF と短縮ダイヤル ボタンの電話ボタンテンプレートを設定します。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
	ダイヤル ボタンの電話ボタン テンプレートの設定 (14 ページ) を参照してください。	(注) テンプレートが BLF と短縮ダイヤルをサポートしない場合、[未指定の関連付けられた項目 (Unassigned Associated Items)] ペインに [BLF SD の新規追加 (Add a new BLF SD)] リンクが表示されます。
ステップ 8	ボタン テンプレートをデバイスに関連付けます。ボタン テンプレートとデバイスの関連付け (15 ページ) を参照してください。	BLF プレゼンス向けに設定したデバイスと一緒にボタン テンプレートを使用します。
ステップ 9	ユーザ デバイス プロファイルを設定します。ユーザ デバイス プロファイルの設定 (15 ページ) を参照してください。	BLF プレゼンス向けにユーザ デバイス プロファイルを設定します。

BLF のクラスタ全体のエンタープライズパラメータの設定および同期

エンタープライズパラメータは、同一クラスタに存在するすべてのデバイスやサービスに適用されるデフォルトを設定するために使用します。クラスタは、同じデータベースを共有する一連の Cisco Unified Communications Manager で構成されています。Cisco Unified Communications Manager の新規インストール時には、エンタープライズパラメータを使用して、デバイスのデフォルトの初期値が設定されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise parameters)]。

ステップ 2 [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドと設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ヒント エンタープライズパラメータについての詳細は、パラメータ名または [エンタープライズパラメータの設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウに表示される疑問符をクリックします。

ステップ 3 [保存] をクリックします。

ステップ 4 (任意) [設定の適用 (Apply Config)] をクリックして、クラスタ全体のパラメータを同期します。

[設定情報の適用 (Apply Configuration Information)] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ5 **OK**をクリックします。

BLF のクラスタ全体のサービス パラメータの設定

BLF に関して [サービス パラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで使用可能な 1 つまたは複数のサービスを設定できます。

始める前に

[BLF のクラスタ全体のエンタープライズ パラメータの設定および同期 \(4 ページ\)](#)

手順

ステップ1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)]。

ステップ2 [サーバ (Serve)] ドロップダウンリストから、パラメータを設定するサーバを選択します。

ステップ3 [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウの各フィールドを設定します。フィールドと設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ヒント サービス パラメータの詳細については、[サービス パラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウに表示されるパラメータ名または疑問符をクリックしてください。

ステップ4 [保存] をクリックします。

(注) [デフォルトのプレゼンス間グループ登録 (Default Inter-Presence Group Subscription)] パラメータは BLF およびスピードダイヤルには適用されません。

BLF プレゼンス グループの設定

BLF プレゼンス グループを使用して、モニタできる接続先を制御できます。BLF プレゼンス グループを設定するには、Cisco Unified Communications Manager Administration にグループを作成し、1 つ以上の接続先と監視者を割り当てます。

新しい BLF プレゼンス グループを追加すると、Unified Communications Manager は初期権限フィールドとしてデフォルト クラスタ フィールドに新しいグループのすべてのグループ関係を定義します。別々のアクセス許可を適用するには、変更する各権限を持つ新しいグループと既存のグループに新しい権限を設定します。



(注) システムは同じ BLF プレゼンス グループ内で BLF プレゼンス要求を常に許可にします。

プレゼンス エンティティのステータスを表示するには、監視者はプレゼンス要求を Unified Communications Manager に送信します。システムでは、監視者は、プレゼンス エンティティのステータス要求を開始するために、次の要件で承認されている必要があります。

- 監視者の BLF プレゼンス グループは、クラスタの内部または外部に関わらず、プレゼンス エンティティ プレゼンス グループのステータスを得るために承認されている必要があります。
- Unified CM は、外部プレゼンス サーバやアプリケーションからの BLF プレゼンス要求を受信するために承認されている必要があります。

始める前に

[BLF のクラスタ全体のサービス パラメータの設定 \(5 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [BLF プレゼンス グループ (BLF Presence Group)]。

ステップ 2 [BLF プレゼンスグループの設定 (BLF Presence Group Configuration)] ウィンドウの各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、[BLF の BLF プレゼンス グループ フィールド \(7 ページ\)](#) を参照してください。

(注) Cisco CallManager サービスの [デフォルトのプレゼンス グループ間サブスクリプション (Default Inter-Presence Group Subscription)] サービス パラメータを使用します。サブスクリプションの許可または拒否をする BLF プレゼンス グループのクラスタ全体のアクセス許可パラメータを設定します。このフィールドは、システムデフォルトの設定、およびクラスタにデフォルトフィールドを使用して、BLF プレゼンス グループ関係を設定できます。

ステップ 3 [保存] をクリックします。

(注) BLF プレゼンス グループに設定する権限は、[BLF プレゼンス グループ関係 (BLF Presence Group Relationship)] ペインに表示されます。グループツーグループ関係のシステム デフォルト権限フィールドを使用するアクセス許可は表示されません。

次のタスク

次のサブタスクを実行して、BLF プレゼンス グループをデバイスおよびユーザと関連付けます。

- [BLF プレゼンス グループと電話の関連付け \(8 ページ\)](#)
- [SIP トランクと BLF プレゼンス グループの関連付け \(9 ページ\)](#)
- [BLF プレゼンス グループとエンド ユーザの関連付け \(10 ページ\)](#)
- [BLF プレゼンス グループとアプリケーション ユーザの関連付け \(11 ページ\)](#)

BLF の BLF プレゼンス グループ フィールド

プレゼンス認証は、BLF プレゼンス グループと連携して動作します。BLF プレゼンス グループ設定フィールドを次の表に示します。

フィールド	説明
名前	設定する BLF プレゼンス グループの名前を入力します。たとえば Executive_Group などです。
説明	設定する BLF プレゼンス グループの説明を入力します。
[他のプレゼンスグループへの関係を変更(Modify Relationship to Other Presence Groups)]	1つ以上の BLF プレゼンス グループを選択し、指定したグループの許可フィールドを選択したグループに設定します。
[登録許可(Subscription Permission)]	<p>選択されている BLF プレゼンス グループに対し、ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [システムデフォルトの使用 (Use System Default)] : 許可フィールドに、クラスタ全体のサービス パラメータ フィールド [デフォルトのプレゼンス間グループ登録 (Default Inter-Presence Group Subscription)] ([登録の許可 (Allow Subscription)] または [登録の拒否 (Disallow Subscription)]) を設定します。 • [登録の許可 (Allow Subscription)] : 指定されたグループのメンバーが、選択されているグループのメンバーのリアルタイム ステータスを確認できるようにします。 • [登録の拒否 (Disallow Subscription)] : 指定されたグループのメンバーが、選択されているグループのメンバーのリアルタイム ステータスを確認できないようにします。 <p>[保存 (Save)] をクリックすると、設定する許可が [BLF プレゼンス グループ (BLF Presence Group)] 関係ペインに表示されます。システムのデフォルト許可フィールドを使用するグループはすべて表示されません。</p>

デバイスとユーザとの BLF プレゼンス グループの関連付け

次の手順を実行して、電話、SIP トランク、SIP を実行する電話、SCCP を実行する電話、電話番号、アプリケーションユーザ（プレゼンス要求を SIP トランク経由で送信するアプリケーションユーザの場合）、およびエンドユーザに BLF プレゼンス グループを適用します。



(注) 同じ BLF プレゼンス グループ内のメンバー間のプレゼンス要求はシステムで許可されます。

BLF プレゼンス グループと電話の関連付け

電話とトランクにプレゼンス要求を送受信する権限がある場合、電話とトランクの BLF プレゼンスを使用できます。

Cisco Unified Communications Manager はクラスタの内部または外部の Cisco Unified Communications Manager ユーザの BLF プレゼンス要求を処理します。BLF プレゼンス要求を電話を介して送信する Cisco Unified Communications Manager ウォッチャについては、電話と BLF プレゼンス エンティティがコロケーションを行う場合、Cisco Unified Communications Manager は BLF プレゼンス ステータスで応答します。

始める前に

[BLF プレゼンス グループの設定 \(5 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択して [新規追加 (Add New)] を選択します。
[新規電話を追加 (Add a New Phone)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2 [電話のタイプ (Phone Type)] ドロップダウン リストから、BLF プレゼンス グループを関連付ける電話のタイプを選択します。
- ステップ 3 [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 4 [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

(注) [SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウンリストから、電話のプレゼンス要求に使用する SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースを選択します。Cisco Unified Communications Manager Administration で設定されたすべてのコーリング サーチ スペースが、[SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウン リストボックスに表示されます。ドロップダウンリストから、エンドユーザに別のコーリング サーチ スペースを選択しない場合、このフィールドの値によってデフォルト値が [None] に設定されます。この目的で明示的に SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースを設定するには、すべてのコーリング サーチ スペースを設定する場合と同じようにコーリング サーチ スペースを設定します。

ステップ 5 [保存] をクリックします。

次のタスク

次のサブタスクを実行して、BLF プレゼンス グループをデバイスおよびユーザと関連付けます。

- [SIP トランクと BLF プレゼンス グループの関連付け \(9 ページ\)](#)
- [BLF プレゼンス グループとエンドユーザの関連付け \(10 ページ\)](#)
- [BLF プレゼンス グループとアプリケーションユーザの関連付け \(11 ページ\)](#)

SIP トランクと BLF プレゼンス グループの関連付け

ダイジェスト認証が SIP トランクで設定されていない場合、トランクが着信サブスクリプションを受け入れるようにトランクを設定できますが、アプリケーションレベルの認証は開始できません。また、Unified CM はグループ認証を実行する前に、すべての着信要求を受け入れます。ダイジェスト認証をアプリケーションレベルの認証と共に使用すると、Unified CM は BLF プレゼンス要求を送信しているアプリケーションのクレデンシャルの認証も行います。

クラスタの外部にあるデバイスに対する BLF プレゼンス要求が存在する場合、Unified Communications Manager は SIP トランクを介して外部デバイスに照会します。ウォッチャに外部デバイスをモニタする権限がある場合、SIP トランクは外部デバイスに BLF プレゼンス要求を送信し、BLF プレゼンス ステータスをウォッチャに返します。



ヒント SIP トランクで BLF プレゼンス グループ認証を着信プレゼンス要求と共に使用するには、トランクのプレゼンス グループ (たとえば、External_Presence_Serv_Group1) を設定して、適切な権限をクラスタ内部のその他のグループに設定します。

SIP トランクのプレゼンス要求の両方のレベルの認証を設定する場合、SIP トランクの BLF プレゼンス グループが使用されるのは、BLF プレゼンス グループがアプリケーションの着信要求で特定されない場合のみです。

始める前に

[BLF プレゼンス グループの設定 \(5 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [トランク (Trunk)] を選択し、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

ステップ 2 [トランク タイプ (Trunk Type)] ドロップダウン リストから、BLF プレゼンス グループを関連付ける電話のタイプを選択します。

[デバイス プロトコル (Device Protocol)] ドロップダウン リストの値が自動的に入力されます。

ステップ 3 [次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 4 [トランクの設定 (Trunk Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

(注) Unified CM システムによる SIP トランクからの着信 BLF プレゼンス要求の受け入れを承認するには、[SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] ウィンドウの [プレゼンスのサブスクリプションの許可 (Accept Presence Subscription)] チェックボックスをオンにします。SIP トランクで着信プレゼンス要求をブロックするには、このチェックボックスをオフにします。SIP トランクの BLF プレゼンス要求を許可すると、Unified CM はトランクに接続する SIP ユーザ エージェント (SIP プロキシ サーバまたは外部 BLF プレゼンス サーバ) からの要求を承認します。Unified CM が SIP トランクからの BLF プレゼンス要求を承認するように設定する場合、ダイジェスト認証をオプションと見なします。

ステップ 5 [保存] をクリックします。

次のタスク

次のサブタスクを実行して、BLF プレゼンス グループをデバイスおよびユーザと関連付けます。

- [BLF プレゼンス グループと電話の関連付け \(8 ページ\)](#)
- [BLF プレゼンス グループとエンドユーザの関連付け \(10 ページ\)](#)
- [BLF プレゼンス グループとアプリケーションユーザの関連付け \(11 ページ\)](#)

BLF プレゼンス グループとエンドユーザの関連付け

管理者は、エクステンションモビリティを設定するために BLF プレゼンス グループとユーザディレクトリおよびコール リストのエンドユーザを関連付けます。

始める前に

[BLF プレゼンス グループの設定 \(5 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択して [新規追加 (Add New)] を選択します。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [エンドユーザ設定 (End User Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 3 [保存] をクリックします。

次のタスク

次のサブタスクを実行して、BLF プレゼンス グループをデバイスおよびユーザと関連付けます。

- [BLF プレゼンス グループと電話の関連付け \(8 ページ\)](#)
- [SIP トランクと BLF プレゼンス グループの関連付け \(9 ページ\)](#)
- [BLF プレゼンス グループとアプリケーションユーザの関連付け \(11 ページ\)](#)

BLF プレゼンス グループとアプリケーションユーザの関連付け

管理者は BLF プレゼンス グループと外部アプリケーションのアプリケーションユーザを関連付けます。これらの外部アプリケーションは、SIP トランクまたは SIP トランク上で接続されているプロキシサーバ上のホームである BLF プレゼンス要求を送信します。たとえば、Web ダイアル、Meeting Place、会議サーバ、およびプレゼンスサーバです。

始める前に

[BLF プレゼンス グループの設定 \(5 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[**ユーザ管理 (User Management)**] > [**アプリケーションユーザ (Application User)**] を選択して [新規追加] をクリックします。

[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 3 [保存] をクリックします。

次のタスク

次のサブタスクを実行して、BLF プレゼンス グループをデバイスおよびユーザと関連付けます。

- [BLF プレゼンス グループと電話の関連付け \(8 ページ\)](#)

- SIP トランクと BLF プレゼンス グループの関連付け (9 ページ)
- BLF プレゼンス グループとエンド ユーザの関連付け (10 ページ)

外部トランクとアプリケーションからの BLF プレゼンス要求の承認

クラスタ外部からの BLF プレゼンス要求を承認するには、外部トランクまたはアプリケーションの BLF プレゼンス要求を承認するようにシステムを設定します。クラスタ外部のトランクおよびアプリケーションに BLF プレゼンス グループを割り当てて、BLF プレゼンス グループ認証を呼び出すことができます。

始める前に

次のサブタスクを実行して、BLF プレゼンス グループをデバイスおよびユーザと関連付けます。

- BLF プレゼンス グループと電話の関連付け (8 ページ)
- SIP トランクと BLF プレゼンス グループの関連付け (9 ページ)
- BLF プレゼンス グループとエンド ユーザの関連付け (10 ページ)
- BLF プレゼンス グループとアプリケーション ユーザの関連付け (11 ページ)

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [トランク (Trunk)] を選択し、[新規追加 (Add New)] をクリックします。[トランクの設定 (Trunk Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** SIP トランクから BLF プレゼンス要求を可能にするには、[SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] ウィンドウの [プレゼンスの SUBSCRIBE の許可 (Accept Presence Subscription)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** トランク レベルの認証に加えて SIP トランク アプリケーションのアプリケーション レベルの認証を有効にするには、[SIP トランク セキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] ウィンドウで次のチェックボックスをオンにします。
 - [ダイジェスト認証を有効化 (Enable Digest Authentication)]
 - [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)]

(注) [ダイジェスト認証を有効化 (Enable Digest Authentication)] をオンにしないと、[アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] をオンにすることはできません。
- ステップ 4** トランクにプロファイルを適用します。トランクへの変更が有効になるように、[リセット (Reset)] をクリックします。

- (注) [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] をオンにする場合、アプリケーションの[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウの [プレゼンスの SUBSCRIBE の許可 (Accept Presence Subscription)] チェックボックスをオンにします。

プレゼンス要求のコーリング サーチ スペースの設定

[SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search space)] オプションを使用すると、BLF プレゼンス要求のコール処理コーリング サーチ スペースとは別にコーリング サーチ スペースを適用できます。プレゼンス要求用に別のコーリング サーチ スペースを選択します。選択しない場合は、SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースによってデフォルト オプションの[なし (None)] が選択されます。エンドユーザに関連付けられている SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースがエクステンションモビリティ コールに使用されます。

SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースは SIP トランク、電話機、またはエンドユーザに適用してください。エンドユーザに関連付けられている SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースがエクステンションモビリティ コールに使用されます。

始める前に

[外部トランクとアプリケーションからの BLF プレゼンス要求の承認 \(12 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。 **コールルーティング > コントロールのクラス > コーリングサーチスペース。**
- ステップ 2 [コーリングサーチスペースの設定 (Calling Search Space configuration)] ウィンドウで、[SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウンリストからコーリング サーチ スペースを選択します。
- ステップ 3 [新規追加] をクリックします。
- ステップ 4 [名前 (Name)] フィールドに、名前を入力します。
- ステップ 5 (任意) [説明 (Description)] フィールドに、コーリング サーチ スペースを識別するための説明を入力します。
- ステップ 6 [使用可能なパーティション (Available Partitions)] リストから、1 つまたは複数のパーティションを選択し、矢印キーをクリックします。
選択したパーティションは [選択済みのパーティション (Selected Partitions)] リストに表示されます。
- ステップ 7 (任意) [選択済みのパーティション (Selected Partitions)] リストにパーティションを追加または削除するには、リストボックスの横にある矢印キーをクリックします。
- ステップ 8 [保存] をクリックします。

Cisco Unified Communications Manager Administration で設定したすべてのコーリング サーチ スペースは、[トランクの設定 (Trunk Configuration)] ウィンドウまたは[電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウン リストに表示されます。

BLF/短縮ダイヤル ボタンの電話ボタン テンプレートの設定

電話機またはユーザのデバイス プロファイルの BLF と短縮ダイヤル ボタンを設定できます。電話機またはデバイス プロファイルにテンプレートを適用 (電話機またはデバイス プロファイルの設定を保存) すると、Cisco Unified Communications の [関連情報 (Association Information)] ペインに BLF SD の新規追加へのリンクが表示されます。



- (注) テンプレートが BLF と短縮ダイヤルをサポートしない場合、[未指定の関連付けられた項目 (Unassigned Associated Items)] ペインに [BLF SD の新規追加 (Add a new BLF SD)] リンクが表示されます。

管理者が SIP URI の BLF と短縮ダイヤル ボタンを追加または変更する際には、ウォッチャが接続先のモニタに許可されていることを確認してください。システムが SIP トランクを使用して SIP URI BLF のターゲットに到達するようにするには、BLF プレゼンス グループが SIP トランクの適用と関連付けられている必要があります。



- (注) BLF と短縮ダイヤルの BLF プレゼンス グループまたはデフォルト内部 プレゼンス グループ サブスクリプションのパラメータを設定する必要はありません。

始める前に

[プレゼンス要求のコーリング サーチ スペースの設定 \(13 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [電話ボタン テンプレート (Phone button template)] の順に選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。
[電話ボタン テンプレートの設定 (Phone Button Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3 [ボタン テンプレート名 (Button Template Name)] フィールドに、テンプレートの名前を入力します。

- ステップ 4 [電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)] ドロップダウンリストから、電話ボタンのテンプレートを選択します。
- ステップ 5 選択されたボタンテンプレートのレイアウトから新しいボタンテンプレートを作成するには、[コピー (Copy)] をクリックします。
- ステップ 6 [保存] をクリックします。

ボタン テンプレートとデバイスの関連付け

電話機またはユーザ デバイス プロファイルに対して BLF および短縮ダイヤル ボタンを設定します。BLF 値は、クラスタ上にある必要はありません。電話機に表示される話中ランプフィールド (BLF) ステータスアイコンについては、ご使用の電話機をサポートする Cisco Unified IP Phone のドキュメンテーションを参照してください。電話で BLF プレゼンスがサポートされているかどうかを確認するには、ご使用の電話とこのバージョンの Unified Communications Manager に対応する Cisco Unified IP Phone のマニュアルを参照してください。

始める前に

[BLF/短縮ダイヤル ボタンの電話ボタン テンプレートの設定 \(14 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [デバイス プロファイル (Device Profile)]。
- ステップ 2 設定済みの電話ボタンテンプレートを検索するには、検索パラメータを入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
すべての検索条件に一致するレコードが表示されます。
- ステップ 3 レコードのいずれかをクリックします。
[デバイス プロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4 [電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)] で、設定済み電話ボタン テンプレートを選択します。
- ステップ 5 (任意) 設定されたデバイスの値を変更します。
- ステップ 6 [保存] をクリックします。

ユーザ デバイス プロファイルの設定

詳細については、[BLF プレゼンスの連携動作 \(16 ページ\)](#) の「「BLF Presence with Extension Mobility (エクステンションモビリティによる BLF プレゼンス)」」の項を参照してください。

始める前に

[ボタン テンプレートとデバイスの関連付け \(15 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイス プロファイル (Device Profile)] を選択します。

ステップ 2 [新規追加] をクリックします。

[デバイス プロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [デバイス プロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

(注) 電話機またはデバイス プロファイルに適用した電話ボタン テンプレートが BLF およびスピードダイヤルをサポートしていない場合、このリンクは [割り当て情報 (Association Information)] ペインに表示されず、[割り当てられていない関連項目 (Unassigned Associated Items)] ペインに表示されます。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

BLF プレゼンスの連携動作

機能	データのやり取り
H.323 電話デバイスがプレゼンス エンティティとして動作する場合の H.323 電話の DN のプレゼンス BLF	H.323 電話の状態が [RING IN] の場合、BLF ステータスは [ビジー (Busy)] として報告されます。SCCP または SIP のいずれかを実行しており、状態が [RING IN] の電話のプレゼンス エンティティの場合、BLF ステータスは [アイドル (Idle)] として報告されます。
H.323 電話デバイスがプレゼンス エンティティとして動作する場合の H.323 電話の DN のプレゼンス BLF	イーサネット ケーブルが電話から抜かれているなどの何らかの理由で H.323 電話が Cisco Unified Communications Manager に接続されていない場合、BLF ステータスは常に [アイドル (Idle)] として報告されます。SCCP または SIP のいずれかを実行しており、Cisco Unified Communications Manager に接続していない電話のプレゼンス エンティティの場合、BLF ステータスが [不明 (Unknown)] として報告されます。

機能	データのやり取り
エクステンション モビリティでの BLF プレゼンス	<p>[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] でユーザデバイスプロファイルの [BLF] ボタンと [短縮ダイヤル (SpeedDial)] ボタンを設定している場合、Cisco Extension Mobility をサポートしている電話にログインすると、この電話の [BLF] ボタンと [短縮ダイヤル (SpeedDial)] ボタンに BLF プレゼンス ステータスが表示されます。</p> <p>エクステンションモビリティユーザがログアウトすると、Cisco Extension Mobility をサポートしている電話に、設定したログアウトプロファイルの [BLF] ボタンと [短縮ダイヤル (SpeedDial)] ボタンに BLF プレゼンス ステータスが表示されます。</p>

BLF プレゼンスの制約事項

制約事項	説明
SIP プレゼンス	Cisco Unified Communications Manager Assistant SIP プレゼンスをサポートしていません。
BLF プレゼンス要求	Cisco Unified Communications Manager Administration ハントパイロットに関連付けられている電話番号への BLF プレゼンス要求を拒否します。
コールのリスト機能の BLF	Cisco Unified IP Phone 7940 と Cisco Unified IP Phone 7960 では、コールリスト BLF 機能はサポートされていません。

制約事項	説明
BLF と短縮ダイヤル	<p>BLF と短縮ダイヤルの設定時、管理者はウォッチャに接続先のモニタが許可されていることを確認します。BLF プレゼンス グループの認証は BLF および短縮ダイヤルには適用されません。</p> <p>(注) SIP を実行している電話では、BLF プレゼンス グループの認証は、コールリストに表示される短縮ダイヤルおよび BLF として設定されている SIP URI または電話番号にも適用されません。</p> <p>異なるパーティションに同じ内線番号がある、重複する DN がある場合は、デバイスに割り当てられている SUBSCRIBE CSS 内で設定されたパーティションの順序に基づいてプレゼンス通知が選択されます。</p> <p>たとえば、2つの BLF 短縮ダイヤルが電話機に設定されているとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「内部」パーティションの拡張 1234 • 「外部」パーティションの拡張 1234 <p>SUBSCRIBE CSS 内で最初にリストされているパーティションは、登録されたデバイスに BLF プレゼンスを提供するものです。</p>
BLF プレゼンス承認	<p>複数回線に接続している Cisco Unified IP Phone は、不在履歴と発信履歴の回線電話番号に関連付けられているキャッシュされた情報を使用して、BLF プレゼンス承認を判別します。この通話情報がない場合、電話はプライマリ回線を BLF プレゼンス承認のサブスクライバとして使用します。複数回線が接続する Cisco Unified IP Phone の [BLF] ボタンと [短縮ダイヤル (SpeedDial)] ボタンの場合、使用可能な最初の回線がサブスクライバとして使用されます。</p>
Cisco Unified IP 電話	<p>SIP を実行している Cisco Unified IP Phone 7960 および 7940 に設定されている電話番号をユーザがモニタするときには、プレゼンス エンティティがオフフックである (ただしコール接続状態ではない) 場合、ウォッチャデバイスに「not on the phone」のステータスアイコンが表示されます。これらの電話はオフフック ステータスを検出しません。その他のすべての電話タイプでは、プレゼンス エンティティでオフフック状態の場合、ウォッチャデバイスに「on the phone」ステータスアイコンが表示されます。</p>
SIP トランク	<p>BLF プレゼンス要求と応答は、SIP トランク、または SIP トランクに関連付けられているルートにルーティングされる必要があります。MGCP および H323 トランク デバイスにルーティングされる BLF プレゼンス要求は拒否されます。</p>

制約事項	説明
SIP を実行している BLF プレゼンス対応電話	SIP を実行している BLF プレゼンス対応電話では、電話番号または SIP URI を [BLF] ボタンまたは [短縮ダイヤル (SpeedDial)] ボタンに設定できます。SCCP を実行している BLF プレゼンス対応電話では、電話番号だけを [BLF] ボタンおよび [短縮ダイヤル (SpeedDial)] ボタンに設定できます。
SIP を実行している電話	SIP を実行している電話では、BLF プレゼンス グループの認証は、コールリストに表示される短縮ダイヤルおよび BLF として設定されている SIP URI または電話番号にも適用されません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。